

ユーザー各位

IJCAD Electrical 2023

バージョンアップ概要

2023年6月

インテリジャパン株式会社は、2023年6月1日に IJCAD Electrical 2023 をリリースいたしました。本資料では、IJCAD Electrical 2023 について、IJCAD Electrical 2022 から新しくなった点をご案内いたします。

目次

汎用機能のバージョンアップ内容について	2
機能拡張.....	3
ケーブル製作図コマンドの追加 (LT/PRO)	3
同一接点表での コイル/MS 主接点 リファレンスの区別に対応 (LT/PRO)	4
同一ページ内での帳票分割 (改行) (LT/PRO)	5
その他 (LT/PRO)	5
注意点.....	6
シンボルや図枠、帳票などのデータ図面の互換性について	6
不具合修正 (Electrical 機能)	7
更新内容.....	8
IJCAD Electrical 機能面.....	8

各見出しの右に表示されているカッコ内の表記は対象となる IJCAD Electrical のグレードです。
例：(LT/PRO) … すべてのグレード、(PRO) … PRO グレードのみ

汎用機能のバージョンアップ内容について

汎用機能のバージョンアップ内容については、IJCAD 2023 のバージョンアップ概要 及び アップデート概要 (SP1、SP1.1) と同様です。

IJCAD Electrical LT は IJCAD STD グレードの、IJCAD Electrical PRO は IJCAD PRO グレードの内容が適用されます。

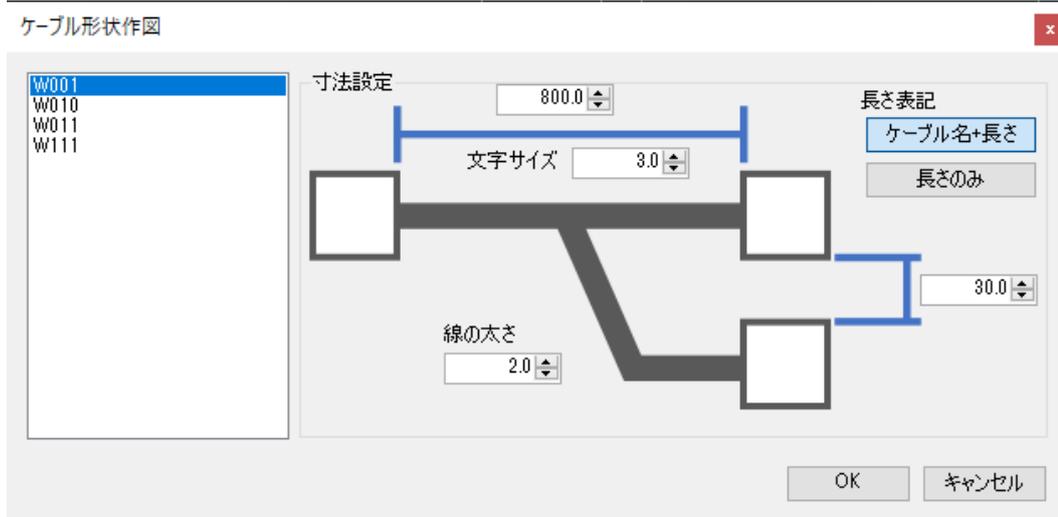
機能拡張

ケーブル製作図コマンドの追加

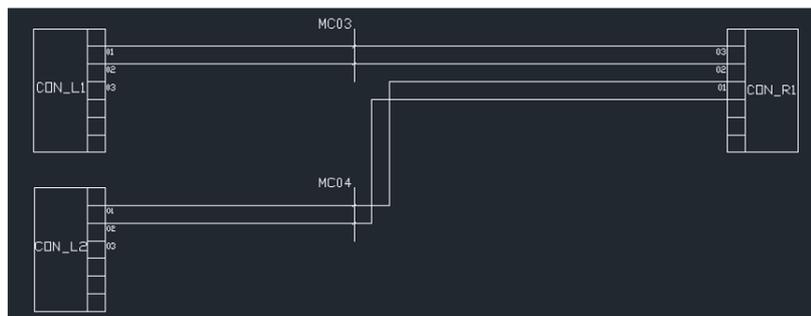
(LT/PRO)

- ・ケーブル製作図 (INSERTCABLESHAPE) コマンドを実行することで、回路図のケーブルから、ケーブル図を自動で作成できます。

(ケーブル定義 及び 機器形状の登録された回路シンボルへの接続が条件です)



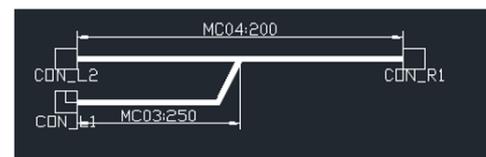
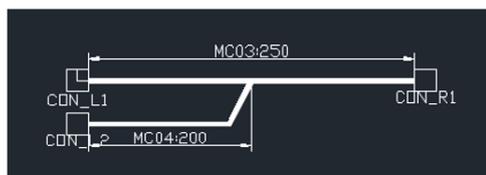
[回路]



↓ MC03を作図

↓ MC04を作図

[作図イメージ]



同一接点表での コイル/MS 主接点 リファレンスの区別に対応 (LT/PRO)

- ・前バージョンまでは同一接点表でコイルのアドレス（下図：1-B-1）しか取得できませんでしたが、IJCAD Electrical 2023 からは MS 主接点のアドレス（下図：1-D-1）も同時に取得できるようになりました。



同一ページ内での帳票分割（改行）

(LT/PRO)

- ・帳票出力時に行数を固定した場合、指定した行数で分割して出力できるようになりました。

出力先

新規ページ作成 IJE_PROJ_2

カレントページに挿入 ※Excel出力は、Excel2007以降が対象です。

Excel出力 参照

CSV出力 参照

出力設定

付属品を含める 行数を固定 15 別のページに分割 同じページに分割

No	数	器具番号	ロケーション	メーカー	型番	リファレンス	No	数	器具番号	ロケーション	メーカー	型番	リファレンス
1	1	AXR	LOC1			1-G-2	16	1	ME				5-B-C
2	1	CDN01				5-B-B	17	1	MCC01	LOC1			1-D-2
3	1	CDN01				5-B-B	18	1	MCCB				1--
4	1	CDN01				5-B-B	19	1	MCCB	LOC1			2P2-D-3
5	1	CDN01				6-C-A	20	1	PL	LOC1			1-F-2
6	1	CDN02				6-D-A	21	1	PL	LOC1			5E-E-2
7	1	CDN02				5-B-B	22	1	ST-BS1	LOC1			1-D-1
8	1	CDN02				5-B-C	23	1	ST-BS2	LOC1			1-E-1
9	1	CDN02				5-B-C	24	1	STB-BS1	LOC1			1--
10	1	CR010				4-B-C	25	1	STB-BS2	LOC1			1-D-1
11	1	CR100	LOC1			2-B-6	26	1	W001				5--
12	1	CR101	LOC1			2-C-6	27	1	W001				5--
13	1	ELCB1				5-B-B	28	1	W002				5--
14	1	M	LOC2			1-B-3	29	1	W1				6--
15	1	M1				5-B-B	30						

その他

(LT/PRO)

- ・[ページ設定]または[プロジェクト設定]の[コイル～接点表の距離]において、小数点以下1桁までの入力に対応しました。
- ・帳票出力時の[項目選択]の列幅において、小数点以下1桁までの入力に対応しました。

注意点

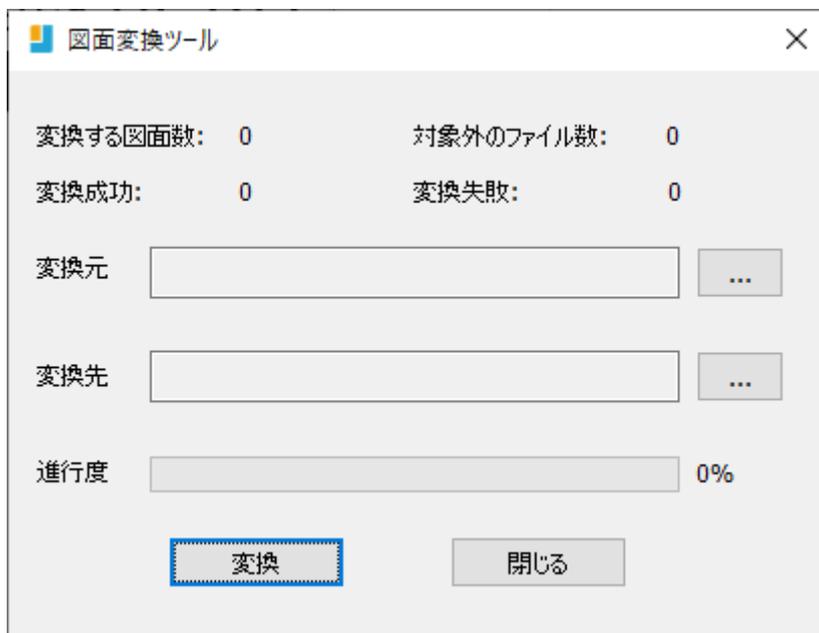
シンボルや図枠、帳票などのデータ図面の互換性について

IJCAD Electrical 2023 において、AutoCAD 2013 形式で保存されたシンボルなどのデータ図面を開いた場合に、属性の表示位置がずれてしまうことがあります。

その場合、IJCAD Electrical の図面変換ツールを用いて、AutoCAD 2018 形式に保存し直すことで解消されます。

図面変換ツールの詳細については、

「IJCAD_Electrical_図面変換ツールマニュアル.pdf」を別途ご参照ください。



不具合修正（Electrical 機能）

<LT,PRO 共通>

- ・複数配線において、接続点が一部しか作成されないことがある不具合を修正。
- ・[複数シンボルス্কート]または[複数配線スクート]コマンドで、何も選択していない状態で [Enter] キーを押下すると、エラーが発生する不具合を修正。
- ・[スペックホルダ]コマンドで、ダイアログのサイズを変更すると表示が乱れてしまう不具合を修正。
- ・[端子台情報設定]コマンドで、カタログ情報をダブルクリックで割り当てることができない不具合を修正。
- ・帳票出力時、文字数の多い属性が含まれると、出力される帳票の基点が帳票枠の左下から外れてしまう不具合を修正。
- ・属性の幅係数などを書式コードから変更している場合、「SPEC1」「USERDEF02」のような末尾に数字の含まれる Electrical 属性が、帳票へ反映されない不具合を修正。
- ・[一括線番配置（ページ）]コマンドで、同一プロジェクト内に同じ名前のページが存在する場合、処理の対象外となってしまう不具合を修正。
- ・アドレスを使用していない図枠が設定されたページ上で接点表を作成すると、ページ設定のアドレス表記が[ページ名]となっている場合でも、[ページ番号]で接点表が作成されてしまう不具合を修正。
- ・付属品を含めて帳票を出力した際、[定格]、[ユーザ定義 1~10]の属性値が反映されない不具合を修正。
- ・シンボル挿入時、端子リストから端子属性をダブルクリックで割り当てた際に、端子属性が正しく反映されないことがある不具合を修正。
- ・シンボルを挿入または削除した際、帳票に反映されないことがある不具合を修正。

<PRO のみ>

- ・[フォーム使用]で出力した端子台表に対して、[帳票編集]コマンドを実行するとエラーが発生する不具合を修正。

更新内容

IJCAD Electrical 機能面

- ケーブル製作図コマンドの追加 (LT/PRO)
- 同一接点表での コイル/MS 主接点 リファレンスの区別に対応 (LT/PRO)
- 同一ページ内での帳票分割 (改行) (LT/PRO)

< IJCAD に関するお問い合わせ窓口 >

システムメトリックス株式会社

ウェブ : <https://www.ijcad.jp/>